

## (長野県松川町)



宮下智博

### 「松川町オーガニックビレッジ宣言」

- 町民の皆さんと一緒に環境保全型農業への取り組みをすすめます。
- 持続可能な農業、持続可能な暮らしを目指し、町の活力・魅力をUPします。
- ゆうきの里としての成長とともに、子どもたちの健やかな成長を目指します。

松川町長 宮下智博 令和5年3月10日

松川町では、世界的な新型コロナウイルスによる影響、また異常気象での農作物への自然災害など、自然環境を強く意識する状況下において、令和元年から、遊休農地を活かす取り組みとして、環境保全型農業（農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業）に取り組んでいます。

環境保全型農業の取り組みとしては、ここ数年で取り組んできた学校給食への※1有機農産物の提供と、100年以上、産地として続く「くだものの里」の果樹栽培でも、長年取り組みが行われてきています。

近年、科学的にも解明されてきた栽培技術や育土、植物の成長等について、さらなる探求を高め、松川町の農産物のブランド化と、担い手の育成、暮らしやすい地域づくりを進めていきます。

※1有機農産物とは、農薬や化学肥料を使わず、遺伝子組み換え技術を使用せず、環境への負荷をできる限り低減した農産物で、有機JAS規格を取得したものです。学校給食へ提供する農産物すべてが有機JAS規格を取得しているわけではありませんが、ここではあえて有機農産物と表記しています。